

高校生以下の10代を対象とした本格的なパイプオルガン・レッスンを開講！

【受講者募集】2024年度「10代のためのパイプオルガン・レッスン」

(締切：2024年10月6日)



©藤本史昭

©藤本史昭

横浜みなとみらいホールでは、パイプオルガンを習ってみたい高校生以下の10代を対象としたオルガン・レッスンを2022年度より開講しました。ホールオルガニスト・近藤岳の指導のもと、11月から開始する全14回のレッスンを経て、2025年3月23日(日)に開催する「修了演奏会」にて大ホールのパイプオルガン“ルーシー”を演奏し、その成果を披露します。

2022・23年度の2年間で計12名が本プログラムを修了。受講生はその後個人でパイプオルガンのレッスンを継続したり、当ホールの事業に出演したりしており、次世代のパイプオルガン奏者を育成するための重要な役割を担うプログラムとなっています。

パイプオルガンに本格的に取り組める貴重な機会。今年度も熱意ある受講生の方を募集いたします。

名称	2024年度 横浜みなとみらいホール「10代のためのパイプオルガン・レッスン」
日程	2024年11月24日(日)～2025年3月23日(日) *グループ・レッスン2回、個人レッスン8回、個人練習5回、修了演奏会
会場	横浜みなとみらいホール 大ホール、関内 BELUGA
講師	近藤 岳 (横浜みなとみらいホール 第2代ホールオルガニスト)
対象	(1) 予定されているすべてのレッスンおよび修了演奏会に出席できる方 (2) 横浜市在住・在学の、鍵盤楽器を現在習っている小学校4年生～高校3年生 ※過去受講経験のある方も応募可。ただし応募多数の場合は初めての方を優先。
募集人数	6名(選考による)
受講料	40,000円(消費税込み) ※レッスンで使用するテキスト代別途
申込方法	所定の申込書により、郵送にて横浜みなとみらいホールまで送付。【10月6日(日)必着】 申込書ダウンロード： <a href="https://yokohama-minatomiraihall.jp/news/data-20240806-289.html">https://yokohama-minatomiraihall.jp/news/data-20240806-289.html</a>
選考方法	第一次選考 書類選考(10月12日(土)までに結果をメールにて通知) 第二次選考 実技選考(10月19日(土)午後(場所・時間は一次通過者へのみ通知))
問合せ	横浜みなとみらいホール 事業企画グループ オルガン担当 ☎045(682)2020 ※9:00-18:00(休館日・保守点検日除く) E-mail mmh_organ@yaf.or.jp

※当事業の取材・情報掲載をお願い申し上げます。情報掲載の際はお手数ですが事前にご一報ください。

このプレスリリースに関するお問合せ

横浜みなとみらいホール 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-3-6

電話：045(682)2020 ※9:00-18:00(休館日・保守点検日除く) E-mail：pr\_mmh@yaf.or.jp

広報担当：藤井聡子、飯島玲名、松本 董 事業担当：絹見 祐佳里

## ■本公演の注目ポイント

### 1. 横浜みなとみらいホールが取り組むユニークなオルガン事業

横浜みなとみらいホールは大ホールに大型のパイプオルガン（愛称“ルーシー”）を有するコンサートホールとして、コンサートのみならず様々な形式でオルガン事業を実施しています。近年では、夏休み期間を中心に実施する演奏体験「はじめてのパイプオルガン※鍵盤楽器初心者対象」「ルーシーを奏でる幸せな10分※鍵盤楽器経験者対象」、横浜市内にあるパイプオルガンとその歴史を紹介する「パイプオルガンと横浜の街」（2019～2023年）が特徴的なものとしてあげられます。

また、初代ホールオルガニスト・三浦はつみの提唱により2002年度より開始した「ホールオルガニスト・インターンシップ・プログラム」はホールオルガニストに求められる役割について実際に体験と訓練を行う当ホール独自の研修制度で、今年度20期を迎えます。

鑑賞者／演奏者の双方向から普及・育成事業に取り組む当ホールが、新たに2022年度より開始した事業が、より若い世代にフォーカスし、次の世代のオルガニストを育てることを目的とした「10代のためのパイプオルガン・レッスン」です。



はじめてのパイプオルガン



パイプオルガンと横浜の街

### 2. 10代を対象とした本格的なパイプオルガン・レッスン

第2代ホールオルガニスト・近藤岳の提唱により開始した「10代のためのパイプオルガン・レッスン」は、近藤自らが講師を務め、3月に開催する修了演奏会を目標に全14回のレッスンを行います。

このレッスンの大きな特徴の一つは、横浜みなとみらいホールのシンボルでもあるパイプオルガン“ルーシー”を演奏できること。修了演奏会はもちろん、レッスンも“ルーシー”を用いて行います。また、練習は大ホール以外に関内にあるスタジオ「関内 BELUGA」でも行い、繊細なタッチや足鍵盤を用いた演奏技術を習得します。

これまでの2期／計12名の修了生を輩出した本レッスン。修了生からは、「オルガンの響きをじっくり感じながらレッスンや練習が出来てとても勉強になった」「パイプオルガンへの印象がガラリと変わった」「機会があればまたオルガンを弾いてみたい」等の感想が寄せられており、子ども達にパイプオルガンの真の魅力と、オルガンを演奏することの楽しさを伝える機会として、重要な役割を果たしています。



レッスンの様子(関内 BELUGA)

#### 横浜みなとみらいホールのパイプオルガン“ルーシー”

大ホール舞台正面に設置されているパイプオルガンは、アメリカのC.B.フィスク社製で、パイプは全部で4,632本。輝くような音色にふさわしく、「光」を意味するラテン語“Lux”に由来する“Lucy(ルーシー)”という愛称で親しまれる、横浜みなとみらいホールのシンボルです。

デザインには横浜にちなんでカモメや船の帆、日本らしい格子などが施されています。

